



一般質問..... P 2

6月定例会から

町議会審議結果..... P 4

上川町税条例などの一部改正、財産  
(電子カルテシステム)の取得

ほか

意見書の提出..... P 5

町長からの行政報告... P 6

委員会の動き..... P 7

自治功労者表彰..... P 7

アンケート結果報告... P 8

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会



「みんなで元気にジャンプ」(6月19日、中央保育所運動会)

# 第3回町議会

## 一般質問

平成23年第3回町議会（定例2）の一般質問は、6月15日に行われ、3議員が町長の考え方を問いました。

### 総合防災訓練の計画は

沢田 議員



(沢田武志議員)

まず、冒頭に東日本大震災、原発事故で亡くなられた方、被害に遭われた方、改めてお悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。

3月11日の東日本大震災による甚大な被害、加えて福島原発事故と広がる放射能汚染はまだ収束の見通しは立っておりません。この大震災をうけて今、全国の自治体で地域の防災（災害対策）について、真剣な議論がなされているところであり、上川町も防災関係について先の総務文教常任委員会で町長の方から一定の報告がなされました。平成24年度に総合防災訓練をすすめるとして、その準備をすすめるとしてあります。この総合訓練はこの15年間、上川では行われていない。諸準備と関係機関との協議はどのようにすすめられていくのか伺います。

町長答弁  
早い時期に準備会議を設置した後、事前協議を開始する予定です。

諸準備につきましては、できるだけ早い時期に庁内関係課及び消防関係を中心とした準備会議を設置をし、訓練実施日程、訓練概要等を策定をし、その後、各関係機関に対する事前協議を開始する予定であります。今回の総合防災訓練は、平成8年9月に実施された市街地を対象にした総合防災訓練から15年経過したことを踏まえて、対象区域の検討、想定される災害



(火災予防訓練の様子)

の種類、応急対策措置、避難救出対策、医療救護対策、関係機関との連携など今後の防災対策上の課題、問題点について訓練をつうじ評価・検証する必要があります。また、今年度は旭川開発建設部による秋期水防訓練が実施されますことから、関係職員を派遣し訓練等の内容を把握し、今後の総合訓練に役立ててまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきます。

町としての東日本大震災被災者支援について



(中里保子議員)

中里 議員

予想もしなかった大規模な地震が3月11日東北地方を襲い、大津波と原発事故が重なり、3カ月余り経過した現在も何ひとつといていくらい復興の兆が見えません。当事者は勿論のこと、国民も悲しさから国などの対応に対する憤りを感じている頃となっております。上川町でも町内会や団体等で義援金を呼びかけたり、職員や医師などが被災地で

職種を生かした支援活動をしたり空住宅を提供しておりますが、一方で観光の街として層雲峡温泉もキャンセルが相次ぎ、大きな痛手を被っております。

被災者の心労が一時的にでも解放されるよう、住居・特産品・温泉などを通して、上川町の空気の澄んだ安心して暮らせる環境で、高齢者の方は長く住み続けてみたいという気持ちを抱き、子供達はプールもグラウンドも安心して使える夏休みを過ごしてもらえればと考えますが、行政とし

### 町長答弁

北海道被災避難者サポート登録制度と連携する

今回の震災発生後の上川町への影響と被災者支援内容等について報告したいと思います。

震災後の影響であります。観光施設の宿泊キャンセルは約1万9千人であり、ゴールデンウィークは若干持ち直したものの、厳しい状況が続く、修学旅行の誘致やイベントの充実等が計画されており



(緊急消防援助隊による被災地支援。宮城県石巻市)

ます。観光施設の災害被災支援事業としては、290室990人の受け入れ体制をとりま

制をとりましましたが、現時点での実績はありません。次に、被災地における支援であります。3月25日より30日まで緊急消防援助隊北海道第5次派遣として、上川中部消防組合から隊員5名、内上川から2名の隊員と救急車1台が石巻市に派遣されております。また、4月23日より5月1日まで職員2名を宮古市へ派遣、市役所の指示により避難所運営業務の支援に携わっております。医療関係では、3月28日より5日間わたり安藤院長、4月5日から8日間福井副院長が被災地支援に携わり、6月6日から第2陣として、宮地副院長、安藤院長が現地支援活動を実施することとなっております。その他、ボランティア活動として福井理学療法士が4月29日より5月7日まで支援活動を行ってきております。

は、3月22日に毛布200枚を現地に発送、義援金については3月14日より公共施設4か所に設置し取り組み、さらに上川町として本議会で義援金200万円をの補正をお願いし、被災地へ送金するものであります。住宅関係では、公営住宅で大雪山団地4戸、紅葉団地3戸、民間施設については17室を有する施設を登録し、準備をしてきたところであり、現在2世帯6名が大雪山団地に入居し、必要な電気製品、布団、日用品なども用意したうえで、日常生活が営めるよう対応してきたところであります。

今後においては、被災者の方々の自立支援をめざした支援策等について、北海道被災避難者サポート登録制度「ふるさとネット」と連携すると共に、社会福祉協議会等関係機関とも協議を進めていきたい、と思っておりますのでご理解をいただきます。

### 少子化・過疎化による対策を

安部 議員



(安部逸雄議員)

毎年、町の人口は減り続け子供の出生数も30人程と頭打ちから減り続けているというような減少化傾向があります。

この間の林業の衰退によって産業構造が変化し、更に国の民営化路線により事業の縮小あるいは再編又は撤退を余儀なくされ、民間企業も同様の道を辿ったのであります。町の活力は確実に失い出し、先行きの見えない状況といえます。次世代育成支援行動計画の中の要望のベスト3とい



(子育て支援行事に集まる親子)

うのは1番多かったのが22件で学童保育の関係。夏休み、冬休みなどもやってもらえるような形に拡大してもらっています。ただ、土曜日、日曜日、やっぱり働いてるけど預けるところがないってこういう関係です。2番目が13件あって子供が安心して遊べるような環境整備も含めた公園の整備。3番目に、児童会館であります。独立してどうのこうのって形はいりませ

析、過疎化と併せた対策について町長の考えを伺います。

**町長答弁**

産業の創出による雇用機会の確保と産業間連携による雇用の安定を図る

少子化につきましては、人口動態統計による平成11年から20年までの出生率は1・25から1・29、とほと

んど変動しておりませんが、この数値の基礎になります15歳から49歳までの女性人口が10年間で率にして35・4%、人数にして343名、減少してきていることも大きな要因であると分析できます。

これら背景には、子育て環境の整備だけではなく、子育て世代の若年層が働きやすい、収入もある程度確保できる等、雇用環境なども充実されていく必要があります。

今後の過疎計画では、若年層の雇用機会の確保に向けた、地域資源を生かした新たな産業の創出、地場産業の経営基盤強化と農業・商業・観光等産業間の連携により雇用の安定を図ることが、少子化・過疎化対策につながると思っております。計画においてこの地域にあった優先順位というものをきちつと見極めながらやっていきたいと思っております。ご理解願います。

**町議会**

**審議結果**

**6月定例会**

平成23年第3回上川町議会(定例2)は6月15日、上川町税条例などの一部改正、財産(電子カルテシステム)の取得、平成23年度一般会計補正予算など20議案が審議され、同日に閉会となりました。主な内容は次のとおりです。

**可決議案等**

上川町税条例の一部改正については、東日本大震災の被災者等の負担の軽減を図るため、地方税法等の一部を改正する法律及び東日本大震災の被害者等にかかる国税関係法律の臨時特例に関する法律が4月27日に

公布されたことなどに伴い、関係する町税条例の一部改正を行うもの

上川町国民健康保険条例の一部改正については、「国民健康保険法等の一部を改正する法律」及び「地方税法等の一部を改正する法律」が施行されたことに伴う改正並びに国民健康保険の課税限度額の改正及び税率が確定したことによる改正をするもの

財産(電子カルテシステム)の取得については、予定価格が700万円を超えることから、議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例第3条により議会の議決が求められるもの

損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定については、レストラン建設に係る工事請負契約の合意解除の和解に基づく損害賠償額の決定について議会の議決

が求められるもの

一般会計補正予算(第1号)は、歳出において、層雲峡・大雪山写真ミュージアム整備事業200万円、東日本大震災に対する上川町からの見舞金200万円などの補正。歳入において、写真ミュージアム整備事業について過疎地域等自立活性化推進交付金が交付決定となり860万円増額、併せて、町債で町有施設整備事業債660万円減額、旭川信用金庫からの指定寄付金140万円などの補正

薦については、上川町農業委員会の定数等に関する条例第3条の規定により、議長において川上隆士議員を指名

賛成多数で可決

町立診療所事業特別会計補正予算(第1号)並びに町立介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)は、施設の改善修理(身障者用トイレ)に伴う費用が主なものであり按分等によりそれぞれ補正

全員賛成で可決  
農業委員会委員の推

**まちの議会を傍聴してみませんか**

次の定例会は9月中旬開催の予定です。

詳しくは、折込みチラシをご覧ください。  
問い合わせ先  
議会事務局 2-1211(内線301)

**意見書を提出しました**

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元、「30人以下学級」の実現を目指す教職員定数改善、就学保障充実など2012年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書の提出について

提出者 安部 逸雄議員 外4人

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

提出者 笠間 法考議員 外4人

北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書の提出について

提出者 川上 隆士議員 外2人

原発からの撤退、安全最優先と自然エネルギーへの転換を求める意見書の提出について

提出者 沢田 武志議員 外3人

(主な提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣(地域主権推進担当、総務財政政務担当) 経済産業大臣 北海道労働局局長 北海道最低賃金審議会会長

**議会・議会広報** に対して、  
みなさまのご意見をお寄せください。

役場議会事務局へ(3階) ☎ 2-1211



# 町長からの 行政報告

上川町森林共同施業団地 越路・豊原・共進地区  
森林整備推進協定の締結並びに、6月10日集中豪  
雨に伴う農業被害状況について

**国**の森林・林業再生プランにおいて、今後10年間を目的に、我が国の森林・林業を早急に再生していくための指針として、10年後の木材自給率を50%以上にする目標設定をし、

国、地方公共団体、森林組合・森林所有者等が、それぞれの役割を確認し、相互に連携して取り組むことが示されました。  
本町としては、「上川町森林・林業再生プラン」を策定していることや広大な森林面積を保有していることが背景にあることから、北海道森林管理局旭川事務所から本協定の締結につ

振興に資することを目的として、上川中部森林管理署と日本製紙(株)社有林の経営管理者である(株)ニチモク林産北海道及び上川町の三者による協定であります。  
また、「林業のまち」から「森林のまち」への再生をテーマとし、昨年度策定した「上川町森林・林業再生プラン」の推進と関連することから、本協定を3月18日に締結したものであります。

**6**月10日に発生した集中豪雨につきまして

は、10分間の最大降雨量が19mmとなり、昨年、記録した12mmを上回り上川町の観測史上1位を記録し、午後2時から午後5時までの間の3時間雨量は53mmに達しました。  
同時に降雹(こうひょう)による農作物の被害が発生したところでございます。  
この被害状況の把握につきましては、農業



(集中豪雨のため側溝で氾濫している様子)

改良普及センター、農協、町の合同チームを編成し、被害状況の確認をしたところでございます。  
主な被害内容につきましては、東雲朝日地区におきまして、斜面の崩落により水田1枚のうち約300mが土砂及び流木等の流入による被害が発生いたしました。  
対策につきましては、土砂及び流木等の除去を行い、苗の再移植を行ったところであり、また、「大豆・かぼちゃ」

につきましては、茎葉(けいよう)が降雹により損傷を受けたため、作物の回復状況を勘案し、代替え作物を検討しなければなりません。  
「そば」につきましては、現在、播種(はしゅ)作業中であり、すでに播種が終了しているほ場が冠水したところですが、冠水時間が長い場合は、発芽率が低下すること、さらには、種が流出しているか否かの確認がむずかしいことから、今後の生育状況を見極め、

とき直しの対応も考慮しなければなりません。  
また、場合によっては農業共済の対応も含めて検討をしなければなりませんし、農業改良普及センターの技術指導を仰ぎ対策を講じたいと考えております。

最後に、被害面積及び被害額につきましては、今後の生育状況の推移を把握し、確定をしたいと考えていることとさせていただきます。

## 委員会の動き

### 産業福祉

5月25日 所管事務調査  
所管各課等の平成23年度主要事業計画について担当課長等から説明を受けた後、質疑を行うとともに大雪展望台(エスポワール)、旭ヶ丘地区水道施設浄水場、菊水地区田植えの現地調査を行った。



(旭ヶ丘地区水道施設浄水場)

所管各課等の平成23年度主要事業計画について担当課長等から説明を受けた後、質疑を行うとともに層雲峡・大雪山写真ミュージアム予定施設(旧層雲峡小学校)、層雲峡小学校の沢・砂防予定地、ホテル大雪従業員宿舎(旧簡保従業員宿舎)の現地調査を行った。



(層雲峡小学校の沢・砂防予定地)

2)の運営について

### 旭ヶ丘地区活性化計画に関する調査特別委員会

4月11日  
旭ヶ丘地区活性化計画について

ル・ゴロワ(大塚氏)事業不参加に係る経過について  
今後の事業の進め方について  
5月30日  
同計画について

### 議会運営委員会

4月13日  
141号の編集について  
6月27日、7月11日  
142号の編集について

### 議会特別委員会

新たなシエフの誘致にかかる経過について  
工事請負契約の解除について

### 総務文教

6月2日 所管事務調査

6月9日 第3回町議会定例会(定例)

## 自治功労者表彰

このたび、藤井吉信議長が議会議長として7年以上、遠藤和男副議長、大西裕議員、菅家幸雄議員がそれぞれ議会議員として15年以上在職し、地方自治の振興発展に寄与貢献された功績により北海道町村議会議長会から表彰を受け、6月15日、第3回町議会定例会(2)の開会前に議場において伝達式が行われました。



(向かって左から菅家議員、遠藤副議長、藤井議長、大西議員)

# 議会傍聴アンケート結果報告

6月15日に開催した第3回町議会（定例2）に5名の傍聴があり、今回も前回に引き続きアンケートを実施し回答をいただきましたので、下表のとおり報告いたします。なお、前回ご指摘等のあつた傍聴マナーについてや当日の議会運営についてを開会前に、榎本議会事務局長から説明を行いました。また、要望の多かつた議案資料については補正予算議案に関して議員と同じものを配布いたしました。今後も寄せられたご意見等を参考に改善に努めて参ります。

対象者 (性別・年齢・傍聴回数)	議会を傍聴してどんな感想をもちましたか			議会や議会広報に対するご意見や気のついた点等
	良い点	悪い点	気のついた点	
男性・70代・5回目	・問題提起はポジションでされたことは、よい...	・問題提起が拡散して自分の主張のポイントは何か、地に足のついた主張が必要ではないか。	・頑張っておられることは感覚としてわかるので更に研さんを。	
男性・70代・2回目	・提言者だけでなく議員さん全員が真剣に聞いていたのが大変印象深く感じました。	・町長だけの答弁に終始し、各関係課長の説明も聞きたかった。 【回答】一般質問につきましては、町長に答弁を求めているため町長がお答えをしております。 なお、補正予算・条例改正等は関係課長が答弁しております。	・防災訓練となると大規模な場所にとらわれがちですが、もっときめ細かい部分的な個所の防災も訓練の中に組み込んではどうでしょうか。 【回答】防災担当課(企画総務課)にご意見を伝えておきました。	・上川町の過疎化について若者の雇用の場が町内にはほとんどないのが現状である。町としては企業の誘致を含め人を呼び込む方策等を発展させなければ人口の増は望めないと思います。 【回答】企業誘致担当課(企画総務課)にご意見を伝えておきました。
男性・60代・7回目	・議員の皆様(質問された方)の考え方が理解できました。	・過去何回か傍聴していますが、一度も質問されない議員さんもいます。いろいろな角度から多くの議員さんが質問されて上川町の活性化に努力されたい。	・今回の議会の案内を新聞折り込みで頂きましたが、傍聴者が少ないのは町民の議会に対する意識の低さに失望しました。	・議員自ら町民の中に入っていく、町民の考え方を聞き、議員自身の考え方をに入れて質問されたら良いと思います。次回も傍聴したいと思います。
男性・60代・1回目			・視点を変えて上川町行政(含む議会活動)をあらためて勉強させていただきます。	・今後も関心を深めて参ります。